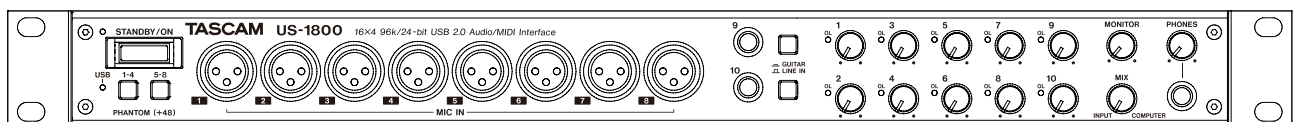
TASCAM

D01127701A

US-1800

USB2.0 Audio/MIDI Interface

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ACアダプターの電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災•感電の原因となります。
	ACアダプターの電源プラグ、およびコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	ACアダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	船舶などの直流（DC）電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

この機器のカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

⚠注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

この機器には、付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）およびACアダプター用電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

ACアダプターの電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）およびACアダプター用電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

目次

このたびは、TASCAM USB2.0 Audio/MIDI Interface US-1800をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（http://www.tascam.jp/）からダウンロードすることができます。

本機の概要

本機は、Cubase LE 5をはじめとするデジタルオーディオワークステーション（DAW）用アプリケーションソフトウェアのためのUSBベースのオーディオインターフェースです。豊富なアナログ入出力、デジタル入出力16チャンネルMIDI入出力を装備し、パソコンをベースにしたデジタルレコーディングシステムでの使用に最適です。

本機の機能

- 16入力、4出力のオーディオインターフェース
- 24ビット／ 96kHz対応
- 8系統のXLRバランスマイク入力、4系統のバランスライン入力
- S/PDIFデジタル入力
- +48Vファントム電源供給可能（8マイク入力）
- 4系統のバランスライン出力、バランスモニター出力、デジタル出力、およびヘッドホン出力
- S/PDIFまたはAES/EBUの選択可能なデジタル出力
- MIDI IN ／ OUTを装備
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能。
- モニターレベルコントロールに加え、USB経由のパソコンからの入力信号と、本機の入力端子からの入力信号を独立してレベルコントロール可能
- オーディオプロトコルとしてASIOとWDMを同時に使用可能なマルチクライアント対応
- USB2.0 High speed（480MHz）対応
- Cubase LE 5 バンドル

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- ACアダプター（TASCAM PS-1225L）　x1
- ACアダプター用電源コードセット　x1
- USBケーブル　x1
- CD-ROM（ドライバー）　x1
- DVD-ROM（Cubase LE 5）　x1
- Cubase LE 5クイックスタートガイド　x1
- ラックマウントビスキット　x1
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

注意

本機には、必ず付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）とACアダプター用電源コードをご使用ください。また、付属のACアダプターとACアダプター用電源コードを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**PHONES**つまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレーに表示される文字を《OK》のように《_》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

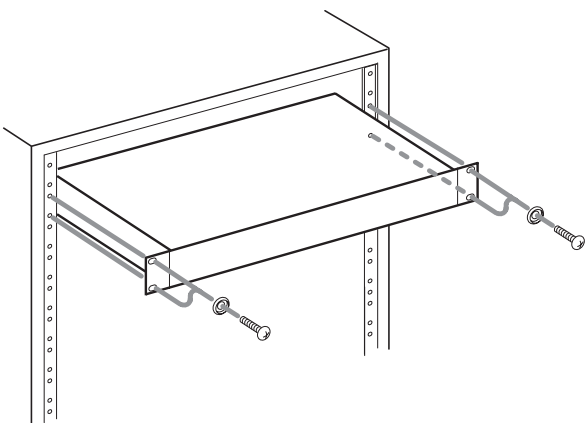
指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、および Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac、Mac OS X、および iTunes は、Apple Inc. の商標です。
- Pentium および Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- Cubase は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- MIDIは、社団法人音楽電子事業協会（ AMEI ）の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所。
  窓際などの直射日光が当たる場所。
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
  極端に温度が低い場所。
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
  ホコリの多い場所。
- 本製品は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
  なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。

結露について

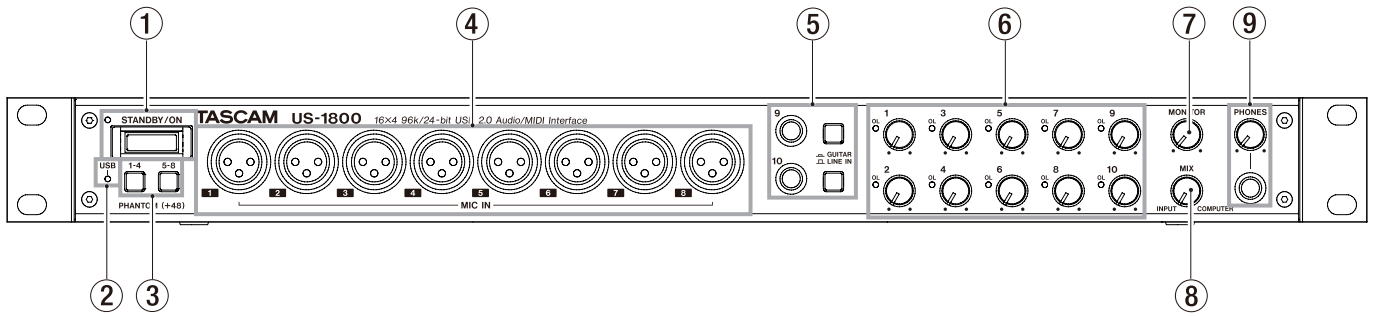
本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししてますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  本機を使ったハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
  - 型名、型番（US-1800）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル

① STANDBY/ONスイッチ、インジケーター

電源のオン／スタンバイ状態の切り換えを行います。オンのとき、STANDBY/ONインジケーターが緑色に点灯します。

② USBインジケーター

USB接続が有効なときに、オレンジ色に点灯します。

③ PHANTOMスイッチ

MIC IN端子（1-4、5-8）に＋48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

4入力チャンネル単位で切り換えることができます。スイッチを押したときにオンになります。

注 意

- このスイッチのオンまたはオフは、機器の出力音量をPHONESおよびMONITORつまみで下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- このスイッチをオンにした状態でマイクの抜き差しをないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、スイッチをオンにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクロホンの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。

④ MIC IN [BALANCED] 端子

XLRタイプのアナログマイク入力端子（バランス）です。ゲインつまみをつかって入力ゲインを設定できます。

（1：GND、2：HOT、3：COLD）

⑤ GUITAR [UNBALANCED] ／ LINE IN [BALANCED] 端子、スイッチ

この端子（9-10）は、TRS標準ジャックのアナログライン入力端子です。

スイッチがオン（GUITAR）のときはアンバランスのギター用入力端子、オフ（LINE IN）のときはバランス入力端子として機能します。

ゲインつまみを使って入力ゲインを設定できます。

（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑥ ゲインつまみ、OLインジケーター（1-10）

ゲインつまみを使って入力（1-10）のゲインを個別に調節します。

マイク入力（1-8）に対しては－2dBu ～－58dBu、ライン入力（9-10）に対しては＋4dBu ～－42dBu（ギター入力時は－6dBV～－52dBV）の範囲で設定することができます。

OL（オーバーロード）インジケーターは、入力が歪む直前（－2dBFSを超えた場合）で点灯します。

⑦ MONITORつまみ

リアパネルのMONITOR L/R端子の出力レベルを調節します。

⑧ MIXつまみ

PHONES端子、およびリアパネルのMONITOR L/R端子から出力される信号ソースのバランスをコントロールします。

左一杯にすると本機の入力信号（MIC IN端子（1-8）またはLINE IN端子（9-14）からの入力）、右一杯にするとUSB経由で入力されたパソコンの出力信号が出力されます。

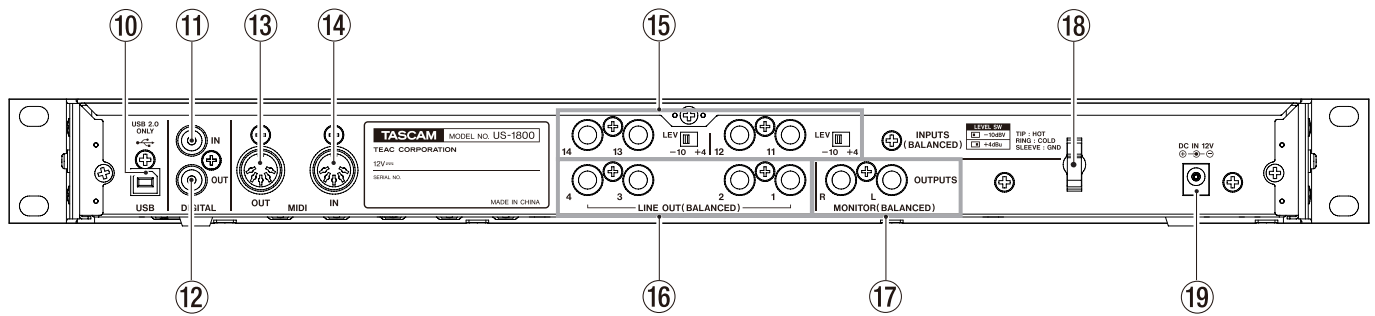
⑨ PHONESジャック／つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。MONITOR L/R端子と同じ信号が出力されます。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注 意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

リアパネル

⑩ USB端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。
（USB2.0のみに対応）

⑪ DIGITAL IN [COAXIAL] 端子

IEC60958-3（S/PDIF）に準拠したCOAXIALデジタル入力端子です。

⑫ DIGITAL OUT [COAXIAL] 端子

IEC60958-3（S/PDIF）、またはAES3-2003（AES/EBU）に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。
LINE OUTPUTS 1/2、または**LINE OUTPUTS 3/4**と同じ信号をデジタル出力します（コントロールパネルで設定)。デジタル信号フォーマットは、コントロールパネル上で選択します。

メモ

本機の**DIGITAL IN** ／ **OUT**端子は、24ビット／ 96kHzの入出力に対応しています。

⑬ MIDI OUT端子

DIN 5ピンの標準MIDI出力端子です。
MIDI信号を出力します。

⑭ MIDI IN端子

DIN 5ピンの標準MIDI入力端子です。
MIDI信号を入力します。

⑮ INPUTS [BALANCED] 端子／ LEVスイッチ

INPUTS端子（**11-14**）は、TRS標準ジャックのバランスライン入力端子です。**LEV**スイッチを使って、規定レベルを−10dBV（**−10**）または＋4dBu（**+4**）に設定することができます。

メモ

入力ゲインの調整はできません。

⑯ LINE OUT [BALANCED] 端子（1-4）

TRS標準ジャックのアナログライン出力端子（バランス）です。
規定出力レベルは＋4dBuです。
この端子からは、USB経由で入力されたパソコンの出力信号を出力します。どの信号を出力するかは、パソコン側のオーディオアプリケーションで設定します。外部ミキサーやレコーダーなどを接続します。
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑰ MONITOR [BALANCED] 端子（L ／ R）

TRS標準ジャックのアナログモニター出力端子(バランス)です。
モノラルミックスされた入力（**1-14**）信号とパソコンからの出力信号をミックスしてモニターすることができます。フロントパネルの**MIX**つまみを使ってミックスするバランスを調節することができます。また、フロントパネルの**MONITOR**つまみを使って出力レベルを調節することができます。
モニタースピーカーなどを接続します。
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑱ コードホルダー

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）のコードを引っ掛けてプラグの抜け落ちを防止します。

⑲ DC IN 12V端子

付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）を接続します。

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト（http://www.tascam.jp/）ご確認ください。

Windows

● 対応OS

Windows XP 32ビット SP2以上(Media Center Editionは除く)
Windows XP 64ビット SP2以上
Windows Vista 32ビット SP2以上
Windows Vista 64ビット SP2以上
Windows 7 32ビット
Windows 7 64ビット

● 対応パソコン

USB2.0ポートを装備したWindows対応パソコン

● CPU ／クロック

Pentium4 1.4GHz以上
AMD Athlon 1.4GHz以上（または同等のプロセッサ）

● メモリー

Windows XP 32ビット／ Vista 32ビット：512MB以上
Windows XP 64ビット／ Vista 64ビット／ Windows 7 32ビット：1GB以上
Windows 7 64ビット：2GB以上

● DVD-ROMドライブ（ドライバーインストール用）

● インターネット接続環境（Cubase LE 5の登録に必要）

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコンすべての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac OS X

● 対応OS

Mac OS X v10.5.8（Intelプロセッサ、またはPower PC G4）
Mac OS X v10.6以上（Intelプロセッサ）

● 対応パソコン

USB2.0ポートを標準で装備しているApple Macintoshシリーズ

● CPU ／クロック

Intelプロセッサ、またはPower PC G4

● メモリー

1GB以上

● HDD

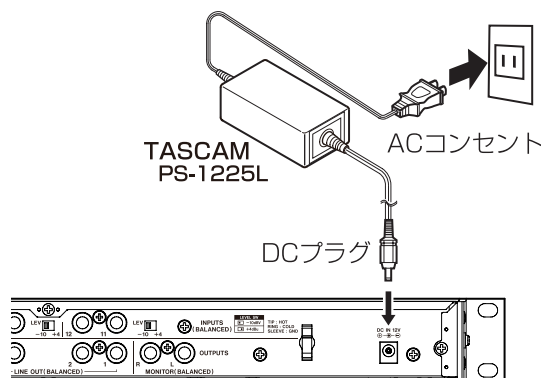
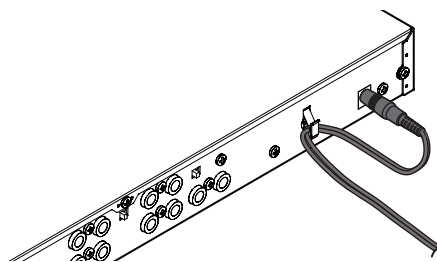
１GB以上の空き容量

● DVD-ROMドライブ（ドライバーインストール用）

● インターネット接続環境（Cubase LE 5の登録に必要）

Macintoshの場合もメモリー容量が大きいほど、またドライブのスピードが速いほど、快適な動作が得られます。

電源の接続

あらかじめ本機の**STANDBY/ON**スイッチがスタンバイ状態になっていること確認します。
付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）を使って、以下のように本機の電源を接続します。

リアパネルには、ACアダプターのコードを固定するためのフック（コードホルダー）があります。使用中のコード抜けを防ぐため、接続するときはコードホルダーにコードを巻いてください。

注意

必ず同梱されている専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

ドライバーのインストール

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。以下に述べるように、本機に付属のドライバー CD-ROMを使って簡単にインストールすることができます。
ドライバーは、随時更新されています。最新のドライバーは、TASCAMのウェブサイト（http://www.tascam.jp/）からダウンロードすることができます。
なお、ドライバーをインストールするときは、本機の接続を外してから始めてください。

注意

- 付属のドライバー CD-ROMの取り扱いには、充分ご注意ください。ディスクに傷や汚れがあると正しくデータを読み出せないためにインストールできない場合があります。
  なお、付属のドライバー CD-ROMが破損した場合は、有償にて交換できます。
- 付属のドライバー CD-ROMを一般のオーディオCDプレーヤーでは、絶対に再生しないでください。ノイズによってスピーカーを破損したり聴力障害が起きることがあります。

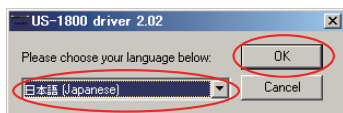
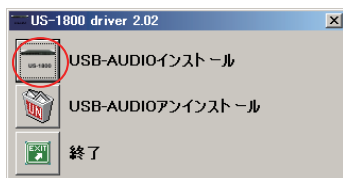
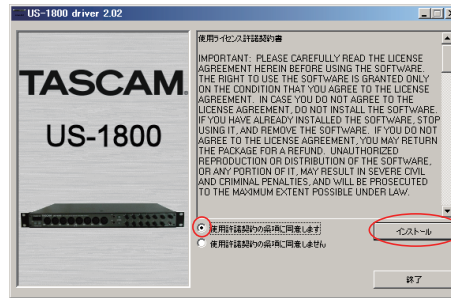
Windows用ドライバーのインストール

注 意

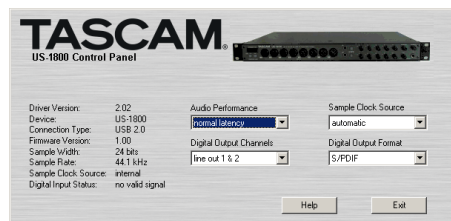
- ドライバーのインストール中に、《**Windowsロゴテストに合格していません...**》という警告が表示されます。この警告は、Windows のロゴテストを受けていないドライバーをインストールするときに表示されるメッセージです。弊社製品のドライバーは、Windows のロゴテストを受けていないためにこのメッセージが表示されますが、本ドライバーは弊社で動作確認済みです。このメッセージが表示されたときは、《**続行**》をクリックしてインストールを続けてください。
- ドライバーのインストールでは、以下の手順**7.**で、USBケーブルの接続が必要です。
  このとき、画面が表示されてから約1分以内に指示された作業を完了させてください。
  時間内に指示された作業が完了しなかった場合は、インストールが失敗することがあります。

ドライバーのインストール

1. 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認します。
2. 付属のドライバー CD-ROMをご使用のパソコンにセットします。
3. メニュー画面が表示されたら、《**Install　Driver**》ボタンをクリックしてください。
   メニュー画面が表示されない場合は、付属のドライバー CD-ROM内のファイルを参照して《**Autorun**》フォルダ内の《**Autorun2.exe**》ファイルを実行してください。

4. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、希望の言語を選択し《**OK**》ボタンをクリックします。
   （以降は、日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります。）

5. 次の画面が表示されたら、《**USB-AUDIOインストール**》ボタンをクリックします。

6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、《**使用許諾契約の条項に同意します**》を選択します。次に《**インストール**》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

7. 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。

8. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。
   《**再起動**》ボタンをクリックして、インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。

9. パソコンが起動したら、《**スタート**》→《**コントロールパネル**》にある《**TASCAM US-1800**》、もしくは《**スタート**》→《**すべてのプログラム**》→《**TASCAM**》→《**US-1800 Control Panel**》をクリックして《**US-1800 Control Panel**》を起動します。Driver Version、Device等の情報が正しく表示されていれば、インストールは成功です。

Mac OS X 用ドライバーのインストール

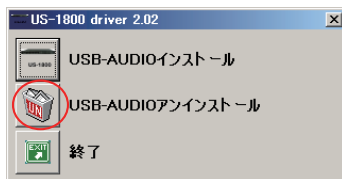
1. 本体がパソコンに接続されていないことを確認します。
2. 付属のドライバー CD-ROM内の《TASCAM_US1800_Driver_x.xx.dmg》をダブルクリックします。デスクトップ上に《TASCAM_US-1800_Driver_x.xx》ができ、このフォルダを開きます。
3. フォルダ内の《TASCAM_US-1800_x.xx.mpkg》をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
4. 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。
5. パソコンを再起動後、本機を接続します。

ドライバーのアンインストール

● Windows

ドライバーをアンインストールするには、以下の2通りの方法があります。

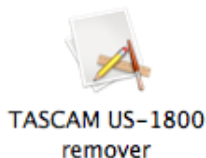
付属のドライバー CD-ROMを使う方法

1. 第3章「Windows用ドライバーのインストール」（10ページ）の**4.**まで同じです。
2. **5.**で《**USB-AUDIOアンインストール**》ボタンをクリックします。

3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

Windows の《プログラムの追加と削除》

1. 《**スタート**》→《**コントロールパネル**》で、《**プログラムの追加と削除**》または《**プログラムと機能**》を実行します。
2. 一覧の中から、《**US-1800 driver**》を選択し、《**変更と削除**》ボタンまたは《**アンインストールと変更**》ボタンをクリックします。
3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

● Mac OS X

1. 付属のドライバー CD-ROMを挿入し、ドライバー CD-ROM内のファイルを参照して、《**TASCAM US-1800 Remover**》をダブルクリックします。

2. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

インストールについてよくある質問と回答（FAQ）

Windows 用ドライバー のインストール

Q：本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、ドライバーのインストールができません。インストール方法が間違っているのでしょうか？

A：《**ハードウェアの追加ウィザード**》を閉じ、本機の接続を外してください。本機を接続する前に、あらかじめドライバーをインストールする必要があります。製品に同梱されたドライバーCD-ROMを挿入すると、ドライバーをインストールするためのメニューが自動的に表示されます。
《**Install Driver**》を選択して、スクリーンの上の指示に従ってください。TASCAMのウェブサイト（**http://www.tascam.jp/**）からドライバーをダウンロードした場合は、ZIPアーカイブを解凍して《**setup.exe**》を実行し、スクリーンの指示に従ってください。

Q：付属のドライバー CD-ROMをWindowsパソコンに挿入しましたが、ドライバー･インストール･メニューが表示されません。どうすればメニューを始めることができますか？

A：ディスクドライブの自動再生の設定がパソコンで無効にされていた可能性があります。Windows Explorerで同梱されている付属のドライバー用CD-ROMを開いて、《**Autorun2.exe**》というファイルをダブルクリックすることによって、手動でインストールメニューを始めることができます。

パソコンの設定

本取扱説明書では、基本的なポイントのみを以下に述べます。

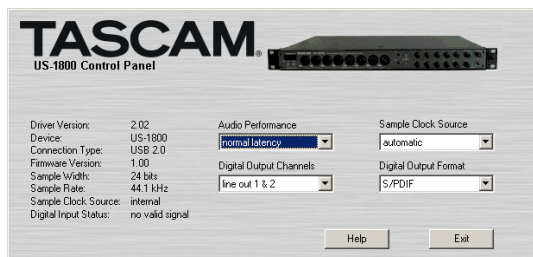
● 他のアプリケーションを立ち上げないようにしましょう。本機を接続しているパソコンをオーディオ以外の用途に使用することもあると思いますが、オーディオアプリケーションを使用しているときには、他のアプリケーションを立ち上げないようにしてください。デジタルオーディオの処理は、パソコンにかなりの負担をかけます。したがって、他のアプリケーション（特にグラフィックやインターネットツール）を動作することによって処理が追いつかなくなる可能性があります。

Cubase LE 5のインストール

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドを参照ください。

第４章　US-1800 コントロールパネルの設定

概要

コントロールパネルでは、本機の機能の設定を行うことができます。Windows では、《**US-1800 Control Panel**》ショートカットが**《スタート》→《コントロールパネル》**、または**《スタート》→《すべてのプログラム》→《TASCAM》**からアクセスできます。
Mac OS X では、《**US-1800 Control Panel**》はアプリケーションフォルダにあります。その他、Mac OS X でオーディオの設定に必要な《**Audio MIDI 設定**》はアプリケーション／ユーティリティのフォルダにあります。

[Windows のコントロールパネル]

[Mac OS X のコントロールパネル]

コントロールパネルの設定

Audio Performance

本機のドライバーは、オーディオ入出力信号を一時的にバッファーに蓄えています。このバッファーサイズは調整が可能です。
バッファーサイズが小さいほど、入力信号モニター時のオーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合がます。
バッファーサイズを大きくするほど動作がより安定し、他のシステム操作のオーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、モニター時のオーディオ信号の遅れが大きくなります。本機では、ユーザー環境に合わせてバッファーサイズを設定することができます。
Windows では、コントロールパネルの《**Audio Performance**》でバッファーサイズの調整を行います。《**lowest Latency**》ではバファーサイズが最も小さく、《**highest latency**》では最も大きくなります。
Mac OS X では、バッファーサイズは使用する各オーディオアプリケーションにて設定します。 従って、Mac OS X バージョンのコントロールパネルには《**Audio Performance**》がありません。詳しくは、お使いになるオーディオアプリケーションの取扱説明書等をご参照ください。

Sample Clock Source

クロックソースを《**Automatic**》または《**Internal**》に設定します。
デジタル入力を使用する場合は、《**Automatic**》に設定してください。

- Automatic（初期値）：**DIGITAL IN**端子に信号が入力されているときは、そのクロックを使用します。**DIGITAL IN**端子に信号が入力されていないときは、本機の内部クロックを使用します。
- **Internal**：常に本機の内部クロックを使用します。

Digital Output Format

デジタル出力のフォーマットを《**AES/EBU**》または《**S/PDIF**》に設定します。

Digital Output Channels

DIGITAL OUT端子からは、**LINE OUTPUTS 1/2**、または**3/4**の信号をデジタル出力することができます。この項目でどちらのペア信号を出力するかを選択します。

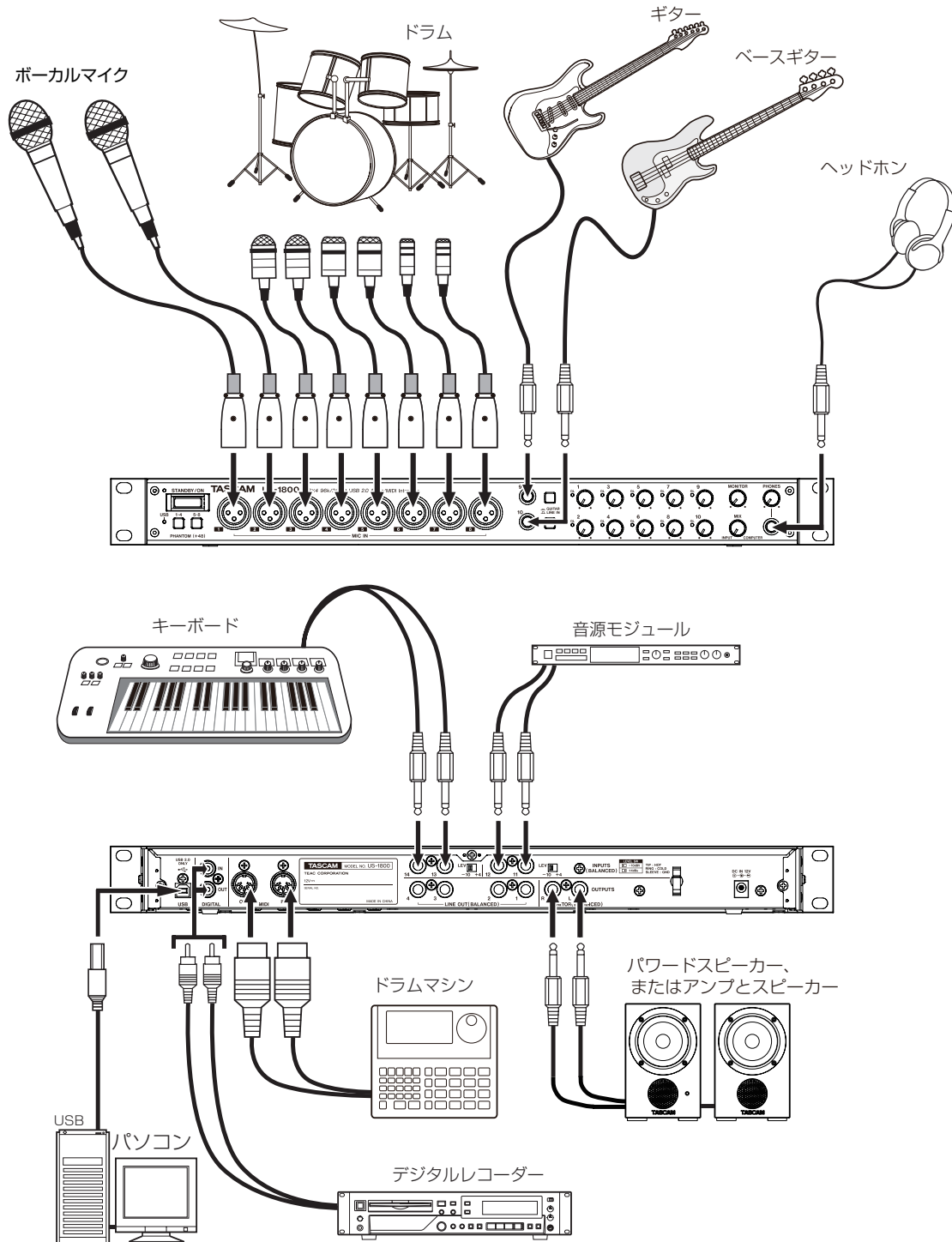
注 意

デジタル入力（DIGITAL IN）を使用する場合、《**Sample Clock Source**》を《**automatic**》に設定して、接続相手をクロックマスターにしてご使用ください。クロックマスターにならない機器との接続はできません。また、デジタル入力（DIGITAL IN）とデジタル出力（DIGITAL OUT）を同時に使用するときに、《**Control Panel**》の《**Sample Clock Source**》を《**internal**》に設定するとDIGITAL INを受信することができないためDIGITAL OUTの音がそのままDIGITAL INに戻されてループノイズが発生する原因となります。

外部機器の接続例

以下に接続例を示します。

接続前の注意

- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。

[US-1800 を使った接続例]

USBの接続

付属のUSBケーブルを使って、図のように本機とパソコンを接続します。

注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために、本機が接続されているパソコンにはマウス、キーボード以外のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器などの出力信号を本機に入力し、本機でデジタル信号に変換し、USBを経由してパソコンに送ります。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。
マイク、ギターなどの入力信号と、パソコンからの出力信号のバランスは、MIXつまみで調節します。

マイク

マイクは、フロントパネルのMIC IN（1-8）端子（XLR）に入力します。ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを接続する場合は、PHANTOM（+48）スイッチをオンにしてください。
外部マイクプリアンプを使うことで8本以上のマイクも入力できます。その場合は、マイクアンプの出力をリアパネルのINPUTS（11-14）に接続してください。

注意

- PHANTOM（+48）スイッチをオンにした状態でダイナミックマイクをアンバランス接続すると機器が故障する恐れがあります。
- PHANTOM（+48）スイッチをオンにした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- PHANTOM（+48）スイッチのオンまたはオフは、機器の出力音量を、フロントパネルのPHONESつまみ、MONITORつまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。

ギター

ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、フロントパネルのGUITAR ／ LINE IN（9-10）のTRS標準ジャック端子に接続し、GUITAR ／ LINE INスイッチをオン（GUITAR）に設定します。

キーボード／ドラムマシン／音源モジュール／カセットデッキ／ MD ／ CDなど（アナログ接続）

これらの機器のアナログ信号出力は、フロントパネルのGUITAR ／ LINE IN端子（9-10）、またはリアパネルのINPUTS端子（11-14）に接続します。
GUITAR ／ LINE IN端子（9-10）に接続する場合は、GUITAR ／ LINE INスイッチをオフ（LINE IN）に設定します。

メモ

GUITAR ／ LINE IN端子（9-10）に接続する場合、本機で入力ゲインを連続的に可変できます（−6dBV 〜−52dBV）。
また、INPUTS端子（11-14）に接続する場合、規定レベルを−10dBV（−10）または+4dBu（+4）に切り換えることができます。

音源モジュール／ MD ／ CDなど（デジタル接続）

これらの機器のデジタル入出力は、リアパネルのDIGITAL IN ／ OUT端子に接続します。

メモ

- 本機のデジタル入力端子は、RCAピンジャックです。S/PDIF信号を入力することができます。
- 本機のデジタル出力は、S/PDIFまたはAES/EBU信号を出力することができます。出力設定は、コントロールパネルで設定します。

モニタースピーカー

モニタースピーカー（パワードスピーカーまたは、アンプとスピーカー）は、リアパネルのMONITOR OUTPUTS端子に接続します。

ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルのPHONES端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

MIDIの接続

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を図のように接続します。
本機リアパネルのMIDI IN端子から入力されたMIDI信号は、そのままパソコンに送られます。パソコンから本機に送られたMIDI信号は、本機リアパネルのMIDI OUT端子から出力されます。したがって、MTC（MIDI タイムコード）の送受信を行うことにより、パソコンのアプリケーション上のMTC対応MTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介します。

Cubase LE 5

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドをご参照ください。

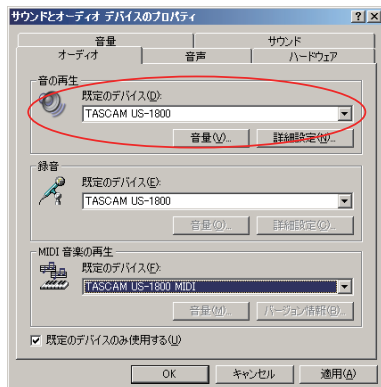
Windows XP と Windows Media Player

1. すべてのアプリケーションを終了し、《**スタートメニュー**》より《**コントロールパネル**》を開きます。

2. 《**サウンドとオーディオデバイス**》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《**サウンド、音声、およびオーディオデバイス**》をクリックした後に表示されます。

3. 《**オーディオ**》タブをクリックし、《**音の再生**》の《**既定のデバイス**》で、《**TASCAM US-1800**》を選択します。

4. 《**OK**》をクリックします。

5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合は、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

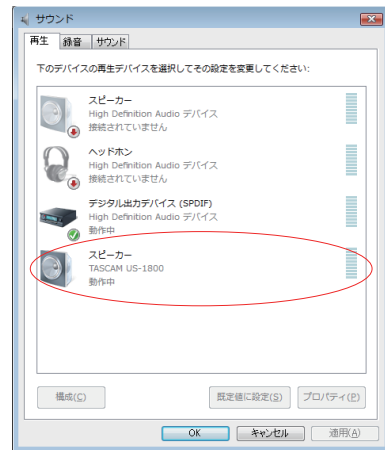
Windows Vista または Windows 7 と Windows Media Player

1. すべてのアプリケーションを終了し、《**スタートメニュー**》より《**コントロールパネル**》を開きます。

2. 《**サウンド**》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《**ハードウェアとサウンド**》をクリックした後に表示されます。

3. 《**再生**》タブをクリックし、《**スピーカー TASCAM US-1800**》をクリックし、《**既定のデバイスとして設定**》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《**スピーカー TASCAM US-1800**》に移動します。

4. 《**OK**》をクリックします。

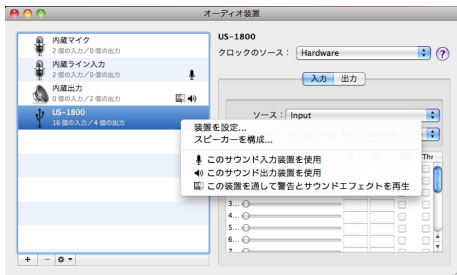
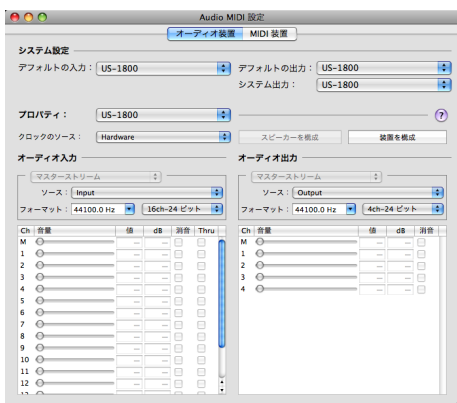
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合は、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

Mac OS X と iTunes

1. 《**アプリケーション**》フォルダの中の《**ユーティリティー**》フォルダの中にある《**Audio MIDI設定**》をダブルクリックして起動します。

2. Mac OS 10.6の場合には、《**オーディオ装置**》を開き、《**US-1800**》をコントロールを押しながらクリックして表示される《**このサウンド入力装置を使用**》と《**このサウンド出力装置を使用**》をクリックします。マイクとスピーカーのマークがUS-1800に移動します。

Mac OS 10.5の場合には、《**オーディオ装置**》タブをクリックします。《**デフォルトの入力**》、《**プロパティ**》、《**デフォルトの出力**》、《**システム出力**》を《**US-1800**》に設定してください。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

マルチ・クライアント動作

Windows環境では、本機を使用して異なるドライバープロトコルを使う複数のオーディオアプリケーションの出力を同時にミックスすることができます。

MIDIインプリメンテーションチャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	スルー
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	スルー
	メッセージ	×	×	
	代用	....		
ノート・ナンバー	音域	×	×	スルー
ベロシティ	ノート・オン	×	×	スルー
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	スルー
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		×	×	スルー
コントロール・チェンジ		×	×	スルー
プログラム・チェンジ		×	×	スルー
	設定可能範囲 #	....		
システム・エクスクルーシブ		×	×	スルー
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	スルー
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	スルー
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン／オフ	×	×	スルー
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ　　モード2：オムニ・オン、モノ　　○：YES

モード3：オムニ・オフ、ポリ　　モード4：オムニ・オフ、モノ　　×：NO

第８章　トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。
本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポートまで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願いいたします。
お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

ご使用環境

- パソコンメーカー：
- モデル：
- CPU：
- 搭載メモリー：
- OS：
- 使用アプリケーション：
- ウイルス対策ソフトの有無：
- 無線LANの有無：

● インストールできない。
インストールしたがPCに認識されない。

↓

何らかの問題が発生し、インストールに失敗する、またはインストールは完了したがパソコンに認識されない場合は、下記をご確認ください。

1) 本機のUSBインジケーターは、点灯しておりますでしょうか。
USBインジケーターが点灯していない場合は、正しくUSBケーブルが接続されているかご確認ください。

メモ

必ず付属のUSBケーブルをご使用ください。

2) USBポートの差し替え
USBポートによっては、本機が正常に動作しないものもございますので、別のUSBポート（オンボードの）に接続して、再度インストールをお試しください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください（キーボード･マウスは、接続しても構いません。）。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の（オンボードの）USBポートに接続してください。

3) 常駐ソフトの停止
アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合がございますので、インストール前に終了してください。

ドライバーのアンインストール／インストール方法は、本取扱説明書の9ページ「ドライバーのインストール」をご参照ください。

● コントロールパネルでFsを切り換えたいのですが、切り換わりません。

↓

S/PDIFに信号が入力されている場合は、切り換えることができません（S/PDIF信号のサンプリング周波数に従います）。
その場合、S/PDIF入力端子のケーブルを抜くか、ソース機器の電源を切ってください。

● オーディオを再生しても音が鳴らない。

↓

パソコン側で音声出力の設定が必要です。本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。
なお、以下の設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

Windows XP

1. すべてのアプリケーションを終了し、《**スタートメニュー**》より、《**コントロールパネル**》を開きます。
2. 《**サウンドとオーディオデバイス**》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《**サウンド、音声、およびオーディオデバイス**》をクリックした後に表示されます。

3. 《**オーディオ**》タブをクリックし、《**音の再生**》および《**録音**》の《**規定のデバイス**》をクリックし、《**TASCAM US-1800**》を選択します。

Windows Vista および Windows 7

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より、《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。

3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー US-1800》を右クリックし、《規定のデバイスとして設定》をクリックします。

Mac OS X

1. すべてのアプリケーションを終了し、《アップルメニュー》より《システム環境設定…》画面を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。
3. 《出力》タブから《US-1800 output》を選択します。

設定が完了しましたら、パソコンを再起動し、再生音をご確認ください。
また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要があるものがございます。
特にDAWは、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーをインストール後、まずはDAWのドライバー設定をご確認ください。
お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各マニュアルをご参照ください。
また、バンドルソフトのCubase LE 5については、付属のCubase LE 5 DVD-ROMに収録されている取扱説明書をご参照ください。

● 音切れやノイズが発生する。

↓

パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。
パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介いたします。

1) 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。

2) お使いのオーディオアプリケーション、あるいは本機のコントロールパネルにてバッファーサイズ（レイテンシー）の設定を大きくすることをお試しください。

メモ

オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合せください。

3) パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

Windows XP

1. 《マイコンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《詳細設定》タブをクリックします。
3. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
4. 《パフォーマンスオプション》画面で、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Windows Vista

a) 《Aero》（エアロ）を《OFF》に設定

1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。
2. 《ウィンドウの色とデザイン》をクリックし、ウィンドウ下の《詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの［デザイン］プロパティを開きます》をクリックします。
3. 《配色》に《Windows Vista ベーシック》など《Windows Aero》以外の項目を選択します。

b) パフォーマンス設定

1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
3. 《詳細設定》タブをクリックします。
4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Windows 7

a) 《Aero》（エアロ）を《OFF》に設定

1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。
2. テーマを《ベーシックテーマとハイコントラストテーマ》の中から選択します。

b) パフォーマンス設定

1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
3. 《詳細設定》タブをクリックします。
4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Mac OS X

1. 《アップルメニュー》より《システム環境設定…》画面を開き、《省エネルギー》を選択します。
2. 《スリープ》タブをクリックします。
3. 《パソコンがスリープするまでの静止している時間》を《しない》に設定します。
4. 《ディスプレーがスリープするまでのパソコンが静止している時間》を《しない》に設定します。
5. 《オプション》タブをクリックします。
《プロセッサのパフォーマンス》を《最高》に設定します。

メモ

Mac OS X のバージョン、またはMacintoshコンピュータによっては、この設定が無い場合があります。

● Cubase LE 5のお問い合わせについて

↓

Cubase LE 5につきましては、Steinberg社より供給された製品のため、弊社ではサポート対象外となります。
ご使用方法につきましては、Cubase LE 5のヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

第９章　仕様

定格

サンプリング周波数

44.1/48/88.2/96kHz

量子化ビット数

16/24ビット

アナログ入出力定格

マイク入力（MIC IN 1-8）

バランス

コネクター：XLR-3-31（1：GND、2：HOT、3：COLD）
入力インピーダンス：2.2kΩ
規定入力レベル：−2dBu（0.615Vrms）
最小入力レベル：−58dBu（0.00098Vrms）
最大入力レベル：+14dBu（3.882Vrms）

ギター入力（GUITAR 9-10）

アンバランス

コネクター：6.3mm（1/4”）TS標準ジャック
（Tip: HOT、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：700kΩ
規定入力レベル：−6dBV（0.501Vrms）
最小入力レベル：−52dBV（0.0025Vrms）
最大入力レベル：+10dBV（3.162Vrms）

ライン入力（LINE IN 9-10）

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：10ｋΩ
規定入力レベル：+4dBu（1.228Vrms）
最小入力レベル：−42dBu（0.0062Vrms）
最大入力レベル：+20dBu（7.746Vrms）

ライン入力（INPUTS 11-14）

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
入力インピーダンス：10ｋΩ
規定入力レベル：
−10dBV（0.3162Vrms）／+4dBu（1.228Vrms）
最大入力レベル：
+6dBV（1.995Vrms）／+20dBu（7.746Vrms）

ライン出力（LINE OUT 1-4）

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
出力インピーダンス：100Ω
規定出力レベル：+4dBu（1.228Vrms）
最大出力レベル：+24dBu（12.277Vrms）

モニター出力（MONITOR L/R）

バランス

コネクター：6.3mm（1/4"）TRS標準ジャック
（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）
出力インピーダンス：100Ω
規定出力レベル：+4dBu（1.228Vrms）
最大出力レベル：+24dBu（12.277Vrms）

ヘッドホン出力（PHONES）

コネクター：6.3mm（1/4"）ステレオ標準ジャック
最大出力：50mW＋50mW（1kHz、1%、32Ω負荷）

デジタル入出力定格

COAXIAL（DIGITAL IN）

コネクター：RCAピンジャック
フォーマット：IEC 60958-3（S/PDIF）
入力インピーダンス：75Ω
レベル：0.5Vp-p ／ 75Ω

COAXIAL（DIGITAL OUT）

コネクター：RCAピンジャック
フォーマット：IEC 60958コンシューマユース（S/PDIF）
または、IEC60958プロユース（AES/EBU)、
コントロールパネルで切り換え
出力インピーダンス：75Ω
レベル：0.5Vp-p ／ 75Ω

コントロール入出力定格

MIDI入力（MIDI IN）

コネクター：DIN 5ピン
フォーマット：標準MIDIフォーマット

MIDI出力（MIDI OUT）

コネクター：DIN 5ピン
フォーマット：標準MIDIフォーマット

USB（USB）

コネクター：USB Bタイプ 4ピン
フォーマット：USB 2.0 HIGH SPEED (480MHz)

オーディオ特性

周波数特性

20Hz-20kHz +1/−1dB（44.1/48kHz）
20Hz-40kHz +1/−3dB（88.2/96kHz）
（MIC IN-LINE OUT、ゲインつまみmin時、JEITA）

S/N比

96dB以上
（MIC IN-LINE OUT、ゲインつまみ min時、44.1kHz時、JEITA）

総合ひずみ率

0.01%以下（MIC IN-LINE OUT、ゲインつまみ min時、JEITA）

動作条件

Windows

対応OS

Windows XP 32ビット SP2以上
（Media Center Editionは除く）
Windows XP 64ビット SP2以上
Windows Vista 32ビット SP2以上
Windows Vista 64ビット SP2以上
Windows 7 32ビット
Windows 7 64ビット

対応パソコン

USB2.0ポートを装備したWindows対応パソコン

CPU ／クロック

Pentium4 1.4GHz以上
AMD Athlon 1.4GHz以上
（または同等のプロセッサー）

メモリー

Windows XP 32ビット／ Vista 32ビット：512MB以上
Windows XP 64ビット／ Vista 64ビット／
Windows 7 32ビット：1GB以上
Windows 7 64ビット：2GB以上

Mac OS X

対応OS

Mac OS X v10.5.8（Intelプロセッサ、またはPower PC G4）
Mac OS X v10.6以上（Intelプロセッサ）

対応パソコン

USB2.0端子を標準で装備している
Apple Macintoshシリーズ

CPU ／クロック

Intelプロセッサ、またはPower PC G4

メモリー

1GB以上

一般

電源

専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L、付属）
AC入力：100-240V、1.0A
DC出力：+12V、2.0A

消費電力

7.2W

外形寸法

482.6 x 44 x 280mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起含まず）
482.6 x 44 x 300.4mm（幅 x 高さ x 奥行き、最大寸法）

質量

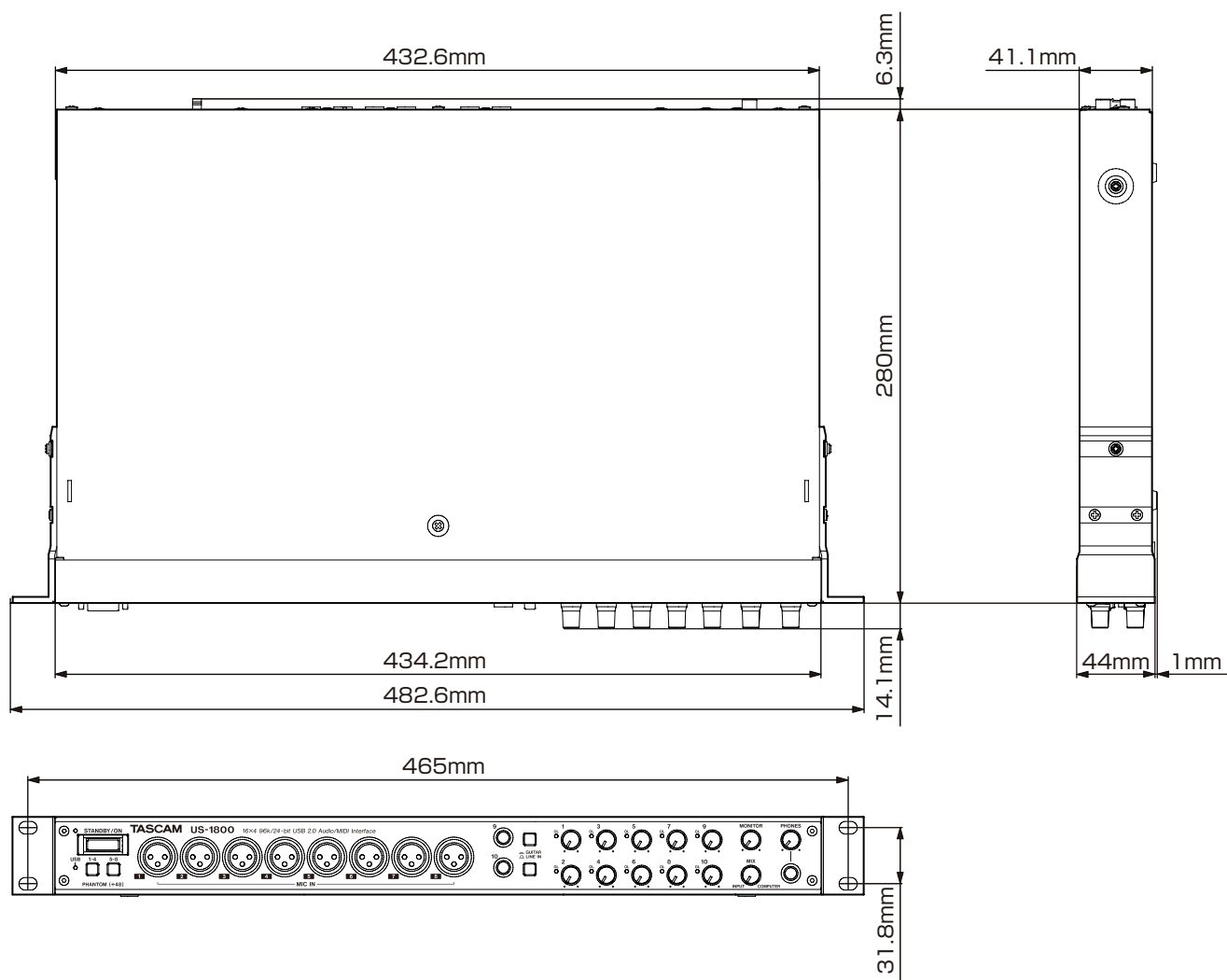
3.1kg

動作温度

5 ～ 35℃

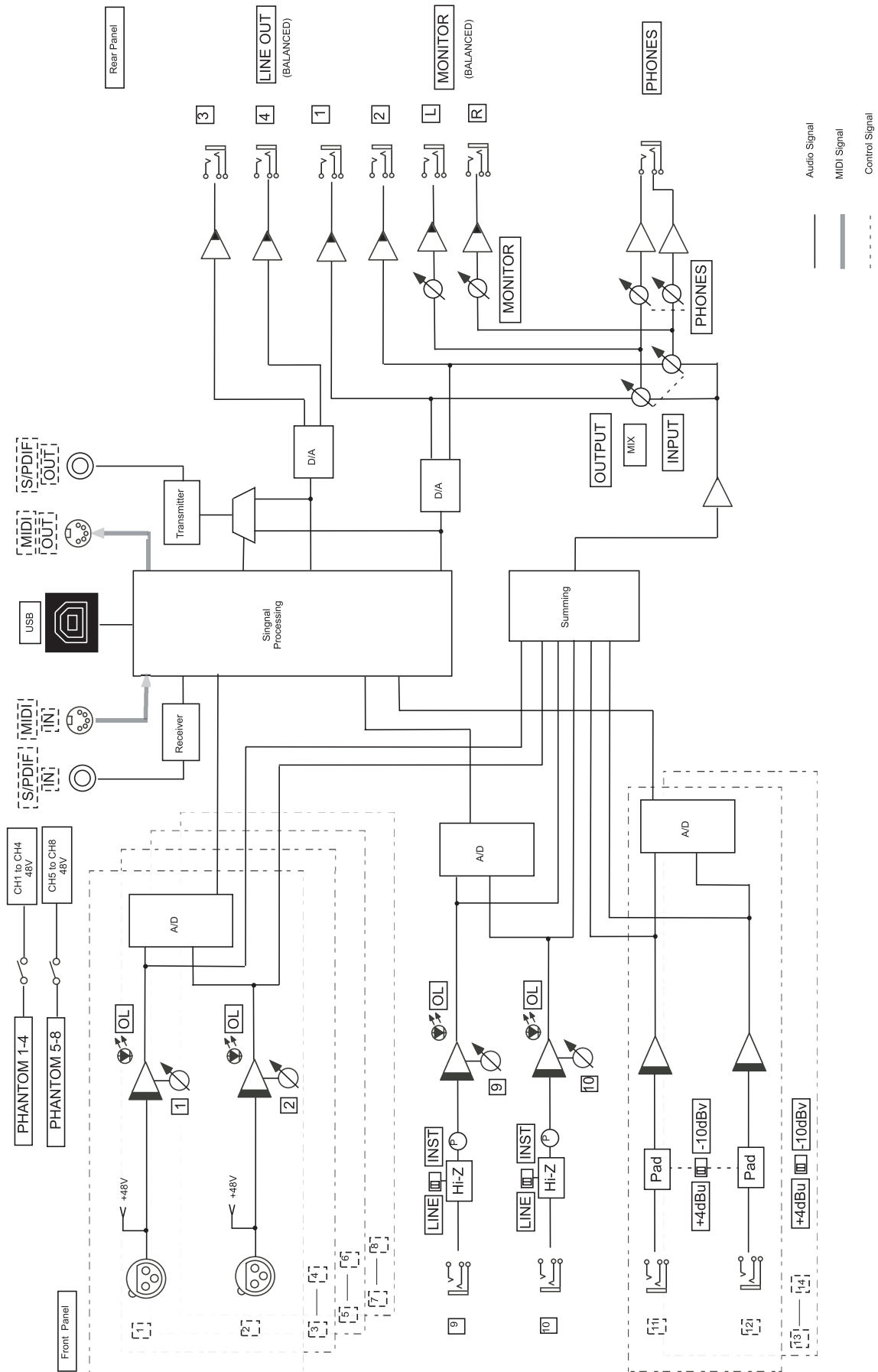
バンドルソフトウェア

Cubase LE 5（Windows、Mac OS X用）

寸法図

＊ 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

＊ 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ブロックダイヤグラム

Rear Panel
LINE OUT
(BALANCED)
MONITOR
(BALANCED)
PHONES
Audio Signal
MIDI Signal
Control Signal
S/PDIF OUT
MIDI OUT
USB
MIDI IN
S/PDIF IN
Transmitter
Receiver
D/A
Singnal Processing
Summing
MONITOR
PHONES
OUTPUT
MIX
INPUT
A/D
CH1 to CH4 48V
CH5 to CH8 48V
PHANTOM 1-4
PHANTOM 5-8
OL
+48V
LINE
INST
Hi-Z
P
Pad
+4dBu
-10dBV
Front Panel

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 ／ 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China